

久留米市内単位互換協定校

久留米大学 久留米工業大学 聖マリア学院大学 久留米信愛短期大学 久留米工業高等専門学校

令和4年度 久留米市内単位互換協定校による

「共同講義」 開講のお知らせ

受講料
無料

テーマ「久留米における暮らしと未来

～SDGsの実現に向けて～



久留米市では、市内にある5校の大学等が単位互換協定を締結したことから、毎年多数の科目が公開され、学生の皆さんが他の大学等の講義を履修した場合に、所属する大学等の単位として認定ができるようになっております。この単位互換の一環として単位互換協定に参加している5校の大学等と久留米市が連携して、毎年一つのテーマを認定し、各校の個性や特色を活かした講座を開講する「共同講義」を実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴いオンライン講座にて、市民公開の共同講義を以下のように開講します。様々な視点から学ぶことができる貴重な機会ですので、意欲と関心のある学生・市民の皆様の多数の参加をお待ちしています。

日時 2022年 10月4日 (火) ～ 11月29日 (火) 13時00分アップロード

「Moodle」によるオンライン講座 (オンデマンド形式)

主催 高等教育コンソーシアム久留米

定員 50名

共催 久留米学術研究都市づくり推進協議会

※申し込み期間：9月1日 (木) ～ 9月16日 (金)

10/4 (火)	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	《基調講演》長岡技術科学大学 教授 南口 誠 小さい傷なら治ります！ ～自己治癒セラミックス～	11/8 (火)	11 住み続けられるまちづくりを	久留米工業大学 教授 松本 豊 筑後地域の防災対策について
10/7 (金)	4 質の高い教育をみんなに	久留米信愛短期大学 教授 山下 浩子 久留米の食育・わたしの食育 ～生涯にわたる健全な食生活の実践を～	11/11 (金)	3 すべての人に健康と福祉を	久留米工業大学 准教授 馬場 隆寛 データサイエンスを用いた精神疾患の早期発見
10/11 (火)	4 質の高い教育をみんなに	久留米信愛短期大学 特任教授 桑原 広治 幼児教育・保育の観点から農業体験や自然体験を通して循環型社会について考えてみよう	11/15 (火)	11 住み続けられるまちづくりを	久留米大学 准教授 藤谷 岳 「地域らしさ」の価値とその保全
10/14 (金)	3 すべての人に健康と福祉を	久留米市 子ども未来部こども子育てサポートセンター主任主事 阿比留 千尋 主事 小宮 真実 未来の子どもたちの健康を考える～将来の健やかな妊娠・出産のために今からできること～	11/18 (金)	4 質の高い教育をみんなに	久留米大学 教授 世利 洋介 高等教育機関におけるSDGsの実現に向けた取り組み
10/18 (火)	15 陸の豊かさも守ろう	久留米市 環境部 環境保全課 主査 松田 知 考えよう！生物多様性 守ろう！くめの生きもの	11/22 (火)	3 すべての人に健康と福祉を	久留米大学 教授 吉田 典子 運動のアンチエイジング効果
10/21 (金)	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	久留米工業高等専門学校 准教授 清長 友和 地球環境問題の解決に向けた様々な取り組みについて	11/25 (金)	3 すべての人に健康と福祉を	聖マリア学院大学 教授 崎田 マユミ 健康的な生活とウェルビーイングを促進するために
10/25 (火)	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	久留米工業高等専門学校 教授 石井 努 太陽光発電：軽くて柔軟な有機薄膜太陽電池	11/29 (火)	3 すべての人に健康と福祉を	聖マリア学院大学 准教授 谷 多江子 心の健康を保つために今できること
11/4 (金)	6 安全な水とトイレを世界中に	久留米市 企業局浄水管理センター、下水道施設課 技術主査 平尾 潤 技術主査 石井 里実 水循環における久留米市の取り組み	全15回:オンデマンド講義出席+レポート提出		

申込・お問い合わせ先

高等教育コンソーシアム久留米
サテライト・キャンパス 事務室
TEL・FAX : 0942-32-7622

申し込みは下記URLよりお願いします

<https://forms.gle/KEpSZ5LX4X2VSHYF7>



開講日	講師	演題	講義内容
10/4 (火)	《基調講演》 長岡技術科学大学 教授 南口 誠	小さい傷なら治ります！ ～自己治癒セラミックス～	日本で開発された自己治癒セラミックスは、例えば加熱処理をすることで、表面にある小さな傷が修復されます。この新素材を紹介するとともに、この新素材が描く未来についてお話ししたいと思います。
10/7 (金)	久留米信愛短期大学 教授 山下 浩子	久留米の食育・わたしの食育 ～生涯にわたる 健全な食生活の実践～	久留米市における食育の取組について『第4次久留米市食育推進プラン』を解説します。第4次プランの目標像は「市民みんなが食への理解を深め、生涯にわたり健全な食生活を実践するまち」です。プランの各施策は目標像の達成を目指し、関連が深い『SDGs』項目を挙げて取組を推進しています。本講義では、第4次プランを参照し、「わたし（受講生）の食育」の取組を考え、実践することの意義について話します。
10/11 (火)	久留米信愛短期大学 特任教授 桑原 広治	幼児教育・保育の観点から農業体験 や自然体験を通して循環型社会に ついて考えてみよう	子どもたちの未来のために、幼児期からのSDGsの観点を意識する人間を育てる幼児教育・保育が求められています。本講義は、幼児と保育者が実際に取り組む農業体験・自然体験の事例をもとにコミュニケーションを通じた循環型社会について考えます。
10/14 (金)	久留米市 子ども未来部 阿比留 千尋 小宮 真実	未来の子どもたちの健康を考える ～将来の健やかな妊娠・出産のために 今からできること～	将来妊娠・出産を希望する可能性のある若者にとって、早い時期から妊娠・出産に関する正しい知識や生活習慣を身につけることはとても大切です。健やかな妊娠・出産に向けて今からできること、また実際に出産・子育てを安心して迎えられるための久留米市の取組についてご紹介いたします。
10/18 (火)	久留米市 環境部 松田 知	考えよう！生物多様性 守ろう！くめめの生きもの	私たち人間は、生物多様性の恩恵を受け、豊かな生活をしていますが、一方で私たちの生活が原因で生物多様性に危機をもたらしています。ひとり一人ができる行動を実践する意義について考えてみましょう。また、久留米市における生物多様性の保全に関わる取組「久留米市生物多様性地域戦略～くめめ生きものプラン～」の解説します。
10/21 (金)	久留米工業高等 専門学校 准教授 清長 友和	地球環境問題の解決に向けた様々な 取組について	地球規模の環境問題の例として、CO ₂ をはじめとした温室効果ガスによる地球温暖化や、自動車・工場から排出される大気汚染物質による大気汚染などが挙げられます。温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーや環境浄化材料などについて学び、我々ができることについて一緒に考えてみましょう。
10/25 (火)	久留米工業高等 専門学校 教授 石井 努	太陽光発電 軽くて柔軟な有機薄膜太陽電池	近年、無尽蔵のエネルギーである太陽光を用いた発電技術が注目されています。本講義では太陽光発電の中で、安価で且つ軽量・柔軟性に優れた有機薄膜太陽電池の現状について紹介いたします。
11/4 (金)	久留米市 企業局 平尾 潤 石井 里実	水循環における久留米市の取組み	私たちが日々利用する水は、筑後川から取水し、浄水処理して使用した後、下水処理してまた筑後川に戻します。日本では、蛇口を捻れば飲める水が出て、お風呂の栓を抜けば汚水が衛生的に処理されますが、この水の循環を保つための仕組みや、取組について、久留米市の状況を紹介します。
11/8 (火)	久留米工業大学 教授 松本 豊	筑後地域の防災対策について	近年、筑後地方では、豪雨、水害、土砂災害による大規模な災害が頻発しています。また、震度4以上の地震も日本各地で発生していることも記憶に新しいことです。そこで、このような自然災害リスクに対し、どのような対策が求められているか、どんな対策で筑後地方が減災に取り組んでいるかについて、市民の皆様と考える共同講義です。
11/11 (金)	久留米工業大学 准教授 馬場 隆寛	データサイエンスを用いた 精神疾患の早期発見	近年、うつ病などの精神疾患は、大きな社会問題となっています。SDGsでも心の健康への対策が求められています。心の病気は、自覚するまでに時間がかかり医師の判断を仰ぐ時点では、深刻な状態であることも多いです。そこで、早期発見のためにデータサイエンスを用いた試みが行われています。本授業では、SNSの投稿から精神疾患があるか検知する試みについて紹介いたします。
11/15 (火)	久留米大学 准教授 藤谷 岳	「地域らしさ」の価値とその保全	「地方消滅」が叫ばれて久しいですが、「地方（地域）」そのものは、そう簡単には消滅しません。しかし、地方（地域）が直面しているのは、「地域らしさ」の消滅です。地域に住む人たちが、その地域をふるさとにもつ人たちの心の拠り所である「地域らしさ」を、かけがえのない価値として大切に守り育てていくためにはどうしたらよいのでしょうか。各地の事例や、大学での実践なども交えながら考察します。
11/18 (金)	久留米大学 教授 世利 洋介	高等教育機関におけるSDGsの実現 に向けた取組み	高等教育機関において、全学的なSDGsの活動を展開している事例はまだ数少ないのが現状です。先進事例を参照しながら、学生を中心に、また学園都市の視点で、どのような取組みがなされているのか、また久留米地域における教育機関での効果的な方策について考えます。
11/22 (火)	久留米大学 教授 吉田 典子	運動のアンチエイジング効果	運動によって我々の体はどのように変化するのか？ 疾病予防と健康寿命の延伸における運動の効果を解説します。
11/25 (金)	聖マリア学院大学 教授 嶋田 ユモミ	健康的な生活とウェルビーイングを 促進するために	病をもつ人の病みの軌跡と健康管理を知り、健康的な生活について考えてみましょう。
11/29 (火)	聖マリア学院大学 准教授 谷 多江子	心の健康を保つために今できること	日頃の生活や人間関係において様々なことが起こりますが、自分らしく前向きな心を保つことができれば素敵ですね。その一歩として、いつでも使うことができるちょっとしたスキルをご紹介します。

申込期間 9月1日（木）～9月16日（金） ※定員（50名）に達し次第締め切らせて頂きます

出願手続 学生の皆さんの履修や出願手続については、所属校の窓口にお問い合わせください。

- ★久留米大学 御井学舎事務部教務課 TEL：0942-44-2071 / FAX：0942-43-4413
- ★久留米工業大学 教務課 TEL：0942-22-2348 / FAX：0942-21-8770
- ★聖マリア学院大学 教務課 TEL：0942-35-7271 / FAX：0942-34-9125
- ★久留米信愛短期大学 教務課 TEL：0942-43-4532 / FAX：0942-43-2531
- ★久留米工業高等専門学校 学生課 TEL：0942-35-9314 / FAX：0942-35-9319

連携校以外の方のお申し込みは、サテライト・キャンパス事務室（表面のQRコード）にてお願いします。

